

1. アトリオとねやまこども園の教育・保育目標

<ul style="list-style-type: none"> ・平和と共生をめざす、寛容で自立した人間の育成を目指す。 ・子育て家庭支援と地域連携で、子育て環境を豊かに創造する。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに設定した学校評価の具体的な目標や計画

目標 園児一人一人にとってふさわしい生活の場を保障する 計画 幼保連携型認定こども園教育保育要領に基づき保育計画、全体計画を立て、理解を深める
--

3. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	結果	理由
[教育・保育の計画性について] ・要領を理解し、計画的に教育・保育が行われていたか ・評価・反省を行い、次の教育・保育に活かしていたか	A	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の中とても考えていただけた ・自分でできるように適切な援助をしている ・子どものペースに合わせて見守っている ・子どもたちのことを優先に考えていた ・自粛期間が長く計画的には難しかったのでは
[教育・保育の向上について] ・園内・園外研修を各教諭が積極的に受け教育・保育の中で研修が活かされているか ・子どもの主体性を大事にする環境であったか	B	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの話をきちんと聞いてくれる。 ・子どもの考えを尊重し向き合っている。 ・実習生の受け入れが各教諭の資質向上に繋がっている ・寒い日も子どもたちに希望で外遊びをしていた。 ・どのような研修を行けてどのように活かされているかわからない（知る手段がない）
[保護者との連携について] ・新型コロナウイルス感染症に対する保育の在り方を保護者に伝えたか	B	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日コドモン、メールで情報を流していただけてありがたかった。メールや口頭での丁寧な説明があった。 ・感染状況やクラス閉鎖などなどのお知らせが適宜あった。 ・濃厚接触者の定義についての説明があるとよかった。
[地域の子育て支援について] ・地域との交流に意義を感じ積極的に取り組んでいるか	C	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍だが近隣の小学校や高校等と関わりイベントなどを定期的に計画して積極的に取り組んでいると思う。 ・キャンドルナイトの作品などコロナ禍でもよくしていただいた。 ・コロナ禍で中止になった事業が多かったのでは。 ・昨年に続きコロナ禍で難しかったと思う。

4. 総合的な評価結果及び今後の課題

結果	理由
B	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の中での園での保育や取り組みは一定の評価をいただいた。 ・コロナ禍の中で、どのように事業や行事を進めていくかが課題である

3, 4 の表示方法

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取り組まれているが成果が十分ではない
D	取り組みが不十分である

5. 施設関係者による評価・意見

施設関係者：保護者会（みつばち会）会長、役員4名、刀根山校区自治協議会会長:計6名

●コロナ禍で親睦会、懇親会等が中止になり教育保育の取り組みの内容を具体的に知る機会が少なかったことが残念だった

1. アトリオとねやまこども園の教育・保育目標

<ul style="list-style-type: none"> ・平和と共生をめざす、寛容で自立した人間の育成を目指す ・子育て家庭支援と地域連携で、子育て環境を豊かに創造する

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに設定した学校評価の具体的な目標や計画

<p>目標 園児一人一人にとってふさわしい生活の場を保障する</p> <p>計画 幼保連携型認定こども園教育保育要領に基づき保育計画、全体計画を立て、理解を深める</p>

3. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	結果	理由
<p>[教育・保育の計画性について]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要領を理解し、計画的に教育・保育が行われていたか ・評価・反省を行い、次の教育・保育に活かしていたか 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・計画は立てるものの年間の見通しを立てるのが難しい職員もあり、その場その時による保育、教育になってしまうこともあった。 またコロナ禍で行事が中止になったり、欠席の子も多く計画が思うように進まないこともあった。
<p>[教育・保育の向上について]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園内・園外研修を各教諭が積極的に受け教育・保育の中で研修が活かされているか ・子どもの主体性を大事にする環境であったか 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・保育の中で研修が活かされている場面は見られたがお知らせボードの日々の活動を知らせるだけでは保護者にその成果が伝わらなかった。 ・子どもの興味に合わせ室内の玩具を変えたり、コーナーを作ったりした
<p>[保護者との連携について]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症に対する保育の在り方を保護者に伝えたか 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・前年度に引き継いでの感染対策を取りながらの保育であったため、保護者も引き続き協力いただけた。 ・個人情報を守りつつの感染状況をお伝えするのは難しかったが、感染者が増えるたびに感染状況をお伝えしたことによる評価をいただいた。
<p>[地域の子育て支援について]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域との交流に意義を感じ積極的に取り組んでいるか 	C	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の中で行事が中止になる中、できることは行ったが密や感染を防ぎながらの新しい交流の仕方を見出すことはできなかった。

4. 総合的な評価結果及び今後の課題

結果	理由
B	<p>コロナ禍で各クラス保育計画が思うように進まないことも多く見通しを立てることも難しかった。</p> <p>リモート研修により安心して職員研修を受けることができ、職員の保育の質も向上した点もあったが、アピールが足りず、保護者には伝わらなかった。</p> <p>地域との交流についてはできることは行ったがコロナ禍での新しい交流の形を見出すことができなかった。</p> <p>今後も続くコロナ禍の中で子どもたちの健康安全を守りながら、保育の質を上げ、保護者に理解していただける方法を見つけるとともに、地域も新しい交流の仕方を見つけていくことが課題である。</p>

3, 4の表示方法

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取り組まれているが成果が十分ではない
D	取り組みが不十分である